



# 平成30年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月11日

上場会社名 株式会社 ザッパラス  
コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 真理  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 真人

TEL 03-5656-2758

四半期報告書提出予定日 平成29年12月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年10月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	2,231	6.9	271		243		297	
29年4月期第2四半期	2,397	20.9	84	50.4	4	97.8	1	

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 312百万円 ( %) 29年4月期第2四半期 3百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	23.40	
29年4月期第2四半期	0.14	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第2四半期	7,950	7,465	93.9	586.35
29年4月期	8,439	7,841	92.9	615.86

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 7,465百万円 29年4月期 7,841百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		5.00	5.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年4月期の配当は未定です。

## 3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	4,800	1.0	650	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年4月期の連結業績予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、「売上高」及び「営業利益」を開示しております。詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期2Q	13,651,000 株	29年4月期	13,651,000 株
期末自己株式数	30年4月期2Q	918,500 株	29年4月期	918,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期2Q	12,732,500 株	29年4月期2Q	12,732,500 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境、個人消費の改善を背景に、全体として緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国政権の動向に対する懸念や地政学的リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するモバイルビジネス環境は急速な変化を続けており、内閣府が平成29年3月に実施した消費動向調査では、平成29年3月末のスマートフォン(\*1)の世帯普及率は従来型の携帯電話の普及率を11.1ポイント上回る69.7%(\*2)に達し、格安スマホやSIMフリー等多様化しながら拡大の一途を辿っております。

このような中、当社グループではスマートフォンユーザーを取り込むべく新たな集客の仕組みづくりを最重要課題とし、当社の主要顧客層(20代~40代の女性)のニーズに合致した商品ラインナップの拡充や新たな形の占いサービスの企画開発に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、cocoloni本格占い館(\*3)やZappallas, Inc. (U.S.)の売上が増加したもののスゴ得(\*4)やauスマートパス(\*5)向けコンテンツ、デコメ(\*6)向けコンテンツの売上が減少したことに加え、前連結会計年度において取り扱っていた受託開発業務を取りやめたことにより、売上高は前年同期比で減少いたしました。利益面につきましては、既存デジタルコンテンツ事業全体としての営業利益が増加したことに加え、Zappallas, Inc. (U.S.)の営業利益が増加いたしました。デコメ向けコンテンツ等の売上減少による影響や第3四半期にも開催を予定しております「占いフェス」及び「占いTV」への積極的な投資継続により、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,231,049千円(前年同期比6.9%減)、営業損失は271,532千円(前年同期は84,482千円の営業利益)、経常損失は243,493千円(前年同期は4,316千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は297,973千円(前年同期は1,835千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

\*1: iPhoneやAndroidに代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

\*2: 内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査(平成29年3月実施調査結果)」より引用。

\*3: ザッパラスが提供する占いに特化したポータルサイトのこと。

\*4: NTTドコモが自社のスマートフォン・タブレット利用者向けに、複数のコンテンツやアプリを定額で提供するサービスのこと。

\*5: KDDI及び沖縄セルラー電話が自社のスマートフォン・タブレット利用者向けに、複数のコンテンツやアプリを定額で提供するサービスのこと。

\*6: デコメはNTTドコモの登録商標です。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

## ① モバイルサービス事業

主力の占いサービスにおいては、日本最大級の占いイベント「占いフェス」を平成29年7月7日から9日の3日間開催した他、インターネット放送局「占いTV」を平成29年7月10日から開始する等、幅広いユーザーに対応した新たな形の占いサービスの企画開発に注力してまいりました。「占いTV」につきましては、当社無料メディアからの誘導や、「占いフェス」におけるサービス紹介等、当社リソースの活用のほか、SNS(\*7)を利用したプロモーションを実施し、幅広い視聴ユーザーの獲得に取り組んでおります。

売上高につきましては、cocoloni本格占い館や電話占い、チャット占いの売上が増加いたしました。スゴ得やauスマートパス向けコンテンツ、デコメ向けコンテンツ等の売上が減少したことにより、モバイルサービス事業全体としては前年同期比で減少いたしました。

利益面につきましては、既存デジタルコンテンツ事業としての利益は増加いたしました。デコメ向けコンテンツ等の売上減少による影響、「占いフェス」及び「占いTV」への積極的な投資継続により、モバイルサービス事業全体としてはセグメント損失となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,678,936千円(前年同期比8.0%減)、セグメント損失は13,485千円(前年同期は341,315千円のセグメント利益)となりました。

\*7: ソーシャル・ネットワークキング・サービスの略称。Web上で社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築可能にするサービス。

## ②海外事業

海外事業につきましては、米国に拠点を置く当社子会社であるZappallas, Inc. (U.S.)が占いコンテンツビジネスを展開しております。売上高につきましては、スポンサーシップ広告及び入札型広告の売上が増加したことに加え、モバイルメニューの追加やユーザー導線の強化などユーザービリティの向上に取り組んだ結果、コンテンツの売上が増加したことにより、前年同期比で増加いたしました。利益面につきましても、売上高の増加により、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は227,210千円(前年同期比17.1%増)、セグメント利益は28,763千円(前年同期比1,134.0%増)となりました。

## ③その他の事業

その他の事業につきましては、占いASP(\*8)事業やオンラインショッピングサイトの運営のほか、株式会社PINKにおいて旅行事業を行っております。

売上高につきましては、占いASP事業が増加いたしました。前連結会計年度において取り扱っていた受託開発業務を取りやめたことにより、前年同期比で減少いたしました。利益面につきましては、ママ向けオンラインショッピングサイト「cuna select」において利益率の高い商材の販売促進が奏功したことによって損失が減少したことに加え、占いASP事業の利益が増加した結果、セグメント損失から利益に転換いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は325,097千円(前年同期比14.1%減)、セグメント利益は5,722千円(前年同期は6,294千円のセグメント損失)となりました。

\*8:アプリケーションサービスプロバイダの略語。アプリケーションをインターネットを通じてサービスとして提供する事業者のこと。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して489,474千円減少し、7,950,351千円となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加額123,807千円があったものの、現金及び預金の減少額511,168千円、売掛金の減少額83,611千円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して113,738千円減少し、484,624千円となりました。その主な要因は、未払金の増加額77,409千円があったものの、未払法人税等の減少額87,010千円、1年内返済予定の長期借入金の減少額80,000千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して375,735千円減少し、7,465,726千円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少額361,636千円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して401,244千円減少し、5,452,706千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、142,918千円(前年同期は266,486千円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純損失244,669千円、減価償却費69,607千円、のれん償却額42,044千円、売上債権の減少額83,685千円、法人税等の支払額77,431千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、118,741千円(前年同期比102.9%増)となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出112,790千円、定期預金の払戻による収入229,600千円、有形固定資産の取得による支出159,664千円、無形固定資産の取得による支出29,448千円、資産除去債務の履行による支出38,418千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、143,241千円(前年同期比76.7%増)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出80,000千円、配当金の支払額63,241千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度につきましては、引き続きユーザー行動に合致したコンテンツ・サービスの拡充を図るとともに潜在ユーザーとの接触ポイントを拡大していくことで、当社グループの顧客基盤を確立・強化し、中長期での企業価値向上をめざしてまいります。

主力の占いサービスにおいては、よりパーソナルな対応を可能にするコンテンツ・サービスを提供すべく、新たな形式の占いサービスの企画開発を進めてまいります。

また、第1四半期連結累計期間より開始したインターネット放送局「占いTV」及び占いイベント「占いフェス」への投資にも継続的に取り組んでまいります。

なお、平成30年4月期の連結業績予想につきましては、平成29年9月12日に公表いたしました「業績予想の開示に関するお知らせ」より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,277,773	5,766,605
売掛金	709,338	625,727
商品及び製品	14,374	14,764
短期貸付金	8,012	8,052
未収還付法人税等	1,629	—
その他	83,734	156,125
貸倒引当金	△15,633	△4,619
流動資産合計	7,079,229	6,566,656
固定資産		
有形固定資産	56,247	180,054
無形固定資産		
ソフトウェア	53,744	56,420
のれん	489,999	449,679
その他	26,794	17,170
無形固定資産合計	570,539	523,271
投資その他の資産		
投資有価証券	422,979	422,979
長期貸付金	13,532	9,496
その他	309,583	256,766
貸倒引当金	△12,286	△8,873
投資その他の資産合計	733,809	680,369
固定資産合計	1,360,595	1,383,694
資産合計	8,439,825	7,950,351
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	130,600	120,509
未払金	127,199	204,609
1年内返済予定の長期借入金	120,000	40,000
未払法人税等	94,384	7,373
ポイント引当金	329	819
本社移転損失引当金	20,516	—
その他	105,332	88,698
流動負債合計	598,362	462,010
固定負債		
長期未払費用	—	22,613
固定負債合計	—	22,613
負債合計	598,362	484,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,476,343	1,476,343
資本剰余金	1,401,718	1,401,718
利益剰余金	6,228,979	5,867,343
自己株式	△1,418,644	△1,418,644
株主資本合計	7,688,397	7,326,761
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	153,065	138,965
その他の包括利益累計額合計	153,065	138,965
純資産合計	7,841,462	7,465,726
負債純資産合計	8,439,825	7,950,351

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	2,397,192	2,231,049
売上原価	900,099	732,397
売上総利益	1,497,092	1,498,652
販売費及び一般管理費	1,412,610	1,770,185
営業利益又は営業損失(△)	84,482	△271,532
営業外収益		
受取利息	446	2,046
為替差益	—	21,755
未払配当金除斥益	1,418	702
投資事業組合運用益	1,283	—
貸倒引当金戻入額	—	3,412
還付加算金	1,118	—
その他	404	463
営業外収益合計	4,671	28,381
営業外費用		
支払利息	801	309
為替差損	83,940	—
その他	95	33
営業外費用合計	84,836	342
経常利益又は経常損失(△)	4,316	△243,493
特別損失		
固定資産除売却損	—	1,175
特別損失合計	—	1,175
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,316	△244,669
法人税、住民税及び事業税	12,797	1,559
法人税等調整額	△6,644	51,744
法人税等合計	6,152	53,304
四半期純損失(△)	△1,835	△297,973
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,835	△297,973

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純損失(△)	△1,835	△297,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△832	—
為替換算調整勘定	△451	△14,099
その他の包括利益合計	△1,283	△14,099
四半期包括利益	△3,119	△312,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,119	△312,073
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,316	△244,669
減価償却費	83,203	69,607
長期前払費用償却額	4,844	2,370
のれん償却額	39,892	42,044
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,925	△14,328
ポイント引当金の増減額(△は減少)	75	490
本社移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	△20,516
受取利息	△446	△2,046
支払利息	801	309
為替差損益(△は益)	83,940	△21,755
固定資産除売却損益(△は益)	—	1,175
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,283	—
売上債権の増減額(△は増加)	11,091	83,685
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,516	△421
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,881	△7,829
未払金の増減額(△は減少)	△75,466	76,499
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,233	△20,965
その他	9,831	△10,663
小計	169,560	△67,014
利息の受取額	360	126
利息の支払額	△721	△212
法人税等の支払額	△2,925	△77,431
法人税等の還付額	100,212	1,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,486	△142,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△112,790
定期預金の払戻による収入	—	229,600
有形固定資産の取得による支出	△29,523	△159,664
無形固定資産の取得による支出	△39,846	△29,448
投資有価証券の清算による収入	9,700	—
資産除去債務の履行による支出	—	△38,418
差入保証金の差入による支出	△2,810	△12,016
貸付金の回収による収入	3,956	3,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,524	△118,741
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△80,000	△80,000
配当金の支払額	△1,078	△63,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,078	△143,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,531	3,655
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	101,351	△401,244
現金及び現金同等物の期首残高	5,823,498	5,853,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,924,849	5,452,706

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	モバイル サービス 事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,824,987	193,980	2,018,968	378,224	2,397,192	—	2,397,192
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	80	—	80	85	165	△165	—
計	1,825,067	193,980	2,019,048	378,309	2,397,358	△165	2,397,192
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	341,315	2,330	343,646	△6,294	337,352	△252,870	84,482

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	モバイル サービス 事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,678,936	227,210	1,906,147	324,902	2,231,049	—	2,231,049
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	195	195	△195	—
計	1,678,936	227,210	1,906,147	325,097	2,231,244	△195	2,231,049
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△13,485	28,763	15,278	5,722	21,001	△292,533	△271,532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。